

道徳の時間で活用する ～正直、誠実～

下関市立神田小学校 林 雅子

1 本場面におけるポイント

- この1時間で何について考えるのかを明確にするために、めあてをもたせる。
- 役割演技を仕組み、「わたしたちの道徳」の読み物資料の主人公と同化させ、主人公の心の動きに共感することができるようにする。
- 振り返りの時間をしっかり確保し、素直に行動することの大切さに気付かせる。

2 授業の実際

1 主題名 素直な心 「資料名 お月さまとコロ」

2 ねらい

コロの変化していく気持ちを考えることを通して、あやまちを素直に認めることで明るい心で生活できることに気づき、素直な気持ちで生活しようとする態度を養う。

3 展開

(1) 導入

教師：(コロの挿絵を提示して) こおろぎのコロと言います。コロは、おこりんぼうで、すぐ文句を言います。
今日は、コロがどうしたらいいのか、みんなで考えていきましょう。
(場面絵を提示しながら、資料を読み聞かせていく。P48～P50L4)

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

めあてをもたせることで、この時間に考えることが子どもたちにとって明確になり、立ち止まった時に戻ることができるようにする。今回は、「コロはどうすればいいのかな。」というコロの行動に、自分の道徳観を託す形のめあてとした。

(2) 展開 (主な教師の発問と児童の発言)

教師：怒って帰ったギロを見て、コロはどう思ったでしょう。
A児：悪いこと言ったな。
B児：友達なのに傷つけてしまった。
C児：謝らないといけな思っている。
D児：いや、謝らなくてもいい思っている。
教師：コロもいろいろなことを思っているようだね。皆さんは、こんなコロをどう思いますか。
B児：いじわる。
A児：素直じゃない。
教師：そうだね。今、コロは二つの心で戦っています。謝るか、謝らなくてもいいかという二つの心で戦っていますね。(資料 P50L5～P50L13 を読み聞かせる。)
教師：コロは、初めはブンブンしていたのに、自分の顔を見たら涙が出てきたね。それでは、今から皆さんはコロです。先生がギロとお月さまになります。どんな顔をしたのか、やってみましょう。
(ギロとお月さまのせりふを言う。)
全員：(それぞれのせりふに対して、コロの表情を作っていく。)
教師：どうして、コロは涙が出てきたのでしょうか。
(吹き出しに書かせた後、発表させる。)
A児：友達にいじわるなことを言ったから、今から謝りに行こう。
B児：どうして謝れないのか分からないし、ひどいことを言っちゃた。どうしてだろう。知らんぷりしたらギロと遊べなくなっちゃう。



C児：ギロは悪くないのに知らんぷりしたから、友達がいなくなっちゃった。謝って、ギロが言った場所に行ってみよう。

D児：ギロが教えてくれたけれど知らんぷりしたから、もう君とは遊ばないと言われてた。どうしよう。

教師：コロは、今までの自分を振り返ることができましたね。
(資料 P51 を読み聞かせる。)

教師：コロは、どんな顔をしているか、やってみましょう。

全員：(「ピピッ」や「ピッピッ リリ コロコロ コロ」に合わせて表情を作る。)

教師：素直で明るくなったコロは、どんなことを思ったのでしょうか。

C児：うれしいな。スッキリした気持ちになった。

B児：ギロに謝ろうと思っている。

D児：「お月さま、ありがとう。」と言っている。

教師：素直になるといいね。

- 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用ポイント等
主人公の心の動きに共感させるため役割演技を仕組んだ。はずかしがったりどうしたらよいか分からなかったりする児童がいるので、まずは一斉に取り組ませ、その後、上手に表現している児童を前に出し、役割演技をさせた。



(3) 終末

教師：皆さんも、コロのように素直になれなかったことはなかったかな。

B児：友達が係の仕事を手伝ってくれるのに、「しないでいいよ。」と言った。

教師：先生にも、素直になれなくて、後悔したことがありますよ。今日の学習を振り返って、大切だと思うことを書いてみましょう。

全員：(ワークシートに書いて、発表する。)

A児：素直に聞いたらいい。素直に聞いたら、友達も嬉しくなる。

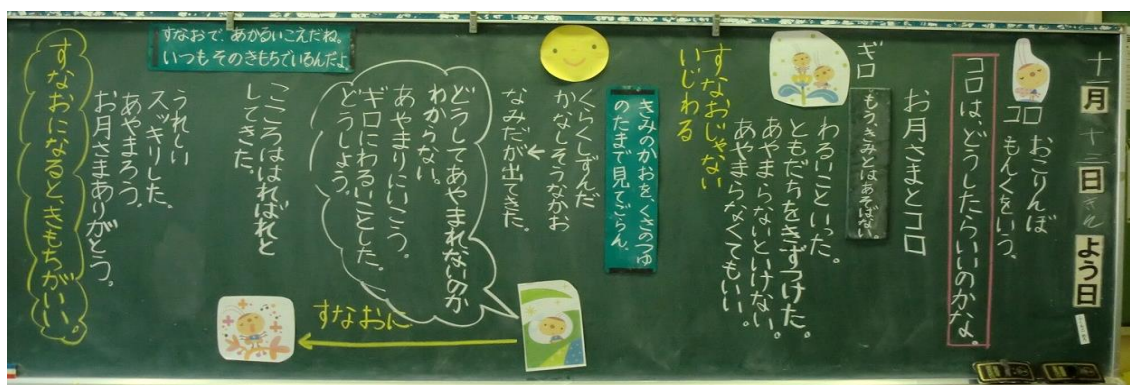
B児：素直に聞いたら楽しくなって、心をこめて謝れる。

C児：コロみたいな性格だと友達がいなくなるから、明るいコロみたいな性格になって、悪いことはすぐに謝ることが大事だと思いました。

D児：人から何か言われたら、知らんぷりせずにちゃんと聞いて、けんかしたらすぐに謝る。素直になったら、自分も楽しいし、相手も楽しい気持ちになる。

教師：素直になると気持ちいいですね。

- 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等
めあてに対して振り返りをさせることで、この1時間で自分が考えたこと、気付いたことを書き残しておくようにする。



3 実践を振り返って

めあてについては、課題的なめあての他にも、「素直な心とは」「素直になると」など、主題に直接関わるめあてを提示する場合も考えられる。これは素直になれた体験やなれなかった体験などから、資料に入る場合に提示するとよいと思う。

振り返りを行う際には、中心発問に対する答えの理由を自分の経験から書かせたり言わせたりするように工夫し、常に自分と比べながら考えていくことができるようにした。